平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月25日

上場会社名　株式会社 ウェッズ　　上場取引所　大
コード番号　7551　URL　http://www.weds.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 川口　修
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 上村　定芳　TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,031	2.1	208	147.9	198	215.2	84	1,082.0
23年3月期第2四半期	8,842	9.4	83	352.9	62	73.5	7	△78.3

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△88百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△291百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	20.16	―
23年3月期第2四半期	1.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	12,370	6,485	52.4	1,544.57
23年3月期	11,938	6,658	55.8	1,585.60

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　6,485百万円　23年3月期　6,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	0.8	580	4.9	550	2.6	270	26.4	64.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,445,000 株	23年3月期	4,445,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	245,841 株	23年3月期	245,841 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,199,159 株	23年3月期2Q	4,199,232 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、本年１月以降景気の足踏み状態から脱却するかに見えましたが、３月に発生した東日本大震災及び福島第１原発問題に伴う節電の影響で、個人消費の低迷、輸出の減少等で今後の景気回復や企業業績の業況に先行き不透明な状況になりました。また、海外の情勢においても、ギリシャの財政危機を引き金とした欧州財政不安、原油や非鉄金属等の国際商品市況の高騰、北アフリカ・中東情勢の緊迫化、さらには円高の進行により予断を許さない状況が続いております。当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要も同様に低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは懸命な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は自動車関連小売事業の減収はしたものの自動車関連卸売事業の増収等により9,031百万円（前年同期比2.1%増）、当第２四半期連結累計期間の営業利益は208百万円（前年同期比147.9%増）となりました。当第２四半期連結累計期間の経常利益は198百万円（前年同期比215.2%増）、当第２四半期連結累計期間の四半期純利益は84百万円（前年同期比1,082.0%増）となりました。

（セグメント別の概況）　（単位：百万円）

		自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第２四半期連結累計期間	7,648	676	－	366	378	△39	9,031
	前第２四半期連結累計期間	7,190	678	342	338	338	△44	8,842
セグメント利益又は損失（△）	当第２四半期連結累計期間	192	△12	－	8	18	1	208
	前第２四半期連結累計期間	97	△41	2	31	△7	1	83

第１四半期連結累計期間より、事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法を変更いたしました。
内容及び影響額につきましては、「第４　経理の状況　セグメント情報等」をご参照ください。

（自動車関連卸売事業）

自動車関連卸売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は7,648百万円となり前年同期比458百万円（6.4%）の増収となりました。これは、スチールホイール全般に加え今年発表した中級アルミホイール、廉価アルミホイールの売上が好調に推移したことと、カー用品の売上が増加したためであります。したがって、セグメント利益は192百万円となり前年同期比94百万円（96.0%）の増益となりました。

（自動車関連小売事業）

自動車関連小売事業は個人消費は依然として低迷していますが、売上高は676百万円となり前年同期比1百万円(0.2%)の減収となりました。セグメント損失は12百万円となり前年同期より29百万円の改善となりました。

（開発事業）

平成23年４月１日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

（福祉事業）

福祉事業の売上高は、366百万円となり前年同期比27百万円（8.3%）の増収となりました。セグメント利益は8百万円となり前年同期比22百万円（72.1%）の減益となりました。売上高については老人ホーム事業は入居者も増え順調に推移しておりますが、事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法変更により営業費が増加したため減益となりました。

（その他）

携帯電話代理店事業の売上高は、332百万円となり前年同期比14百万円（4.4%）の増収、昨年４月より開始した賃貸事業は46百万円となり前年同期比26百万円（134.2%）の増収、合わせて378百万円となり前年同期比40百万円（12.1%）の増収となりました。これは新型携帯電話への新規需要が順調に推移しているためであります。セグメント利益は18百万円となり前年同期比26百万円の改善となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期における総資産額は12,370百万円となり、前連結会計年度末比431百万円の増加となりました。主たる要因は、棚卸資産の増加によるものです。負債総額は5,884百万円となり前連結会計年度末比603百万円の増加となりました。主たる要因は棚卸資産の増加に伴う短期借入金の増加によるものであります。これらの結果、純資産額は6,485百万円となり前連結会計年度末比172百万円の減少となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月11日付当社「平成23年３月期決算短信」にて発表いたしました平成24年3月期の第2四半期累計期間（連結・個別）の業績予想を修正しております。詳細は平成23年10月25日付にて別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,232	894,300
受取手形及び売掛金	2,824,576	2,217,282
商品	1,593,377	2,874,991
仕掛品	214,733	182,463
原材料及び貯蔵品	81,586	68,088
繰延税金資産	208,859	312,815
その他	361,844	309,754
貸倒引当金	△3,100	△6,280
流動資産合計	6,338,109	6,853,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,597,611	3,598,704
減価償却累計額	△1,377,117	△1,438,771
建物及び構築物（純額）	2,220,493	2,159,933
土地	1,705,150	1,705,150
建設仮勘定	－	8,187
その他	600,751	564,489
減価償却累計額	△435,888	△394,655
その他（純額）	164,863	169,833
有形固定資産合計	4,090,507	4,043,105
無形固定資産		
のれん	178,300	169,650
その他	89,874	78,129
無形固定資産合計	268,174	247,779
投資その他の資産		
投資有価証券	703,747	703,723
繰延税金資産	33,801	33,353
その他	507,452	488,896
貸倒引当金	△2,850	△250
投資その他の資産合計	1,242,151	1,225,723
固定資産合計	5,600,832	5,516,608
資産合計	11,938,942	12,370,024

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,032,686	1,196,497
短期借入金	1,539,926	2,104,926
未払法人税等	169,874	51,196
携帯電話短期解約返戻引当金	92	150
賞与引当金	149,527	136,596
役員賞与引当金	32,200	12,700
その他	596,156	795,804
流動負債合計	3,520,464	4,297,871
固定負債		
長期借入金	1,132,538	992,575
繰延税金負債	84,495	114,982
退職給付引当金	57,227	56,964
役員退職慰労引当金	141,446	74,777
資産除去債務	18,918	19,134
その他	325,661	327,825
固定負債合計	1,760,287	1,586,259
負債合計	5,280,752	5,884,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	5,123,406	5,124,075
自己株式	△96,131	△96,131
株主資本合計	6,682,114	6,682,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,066	27,812
繰延ヘッジ損益	△48,379	△228,776
為替換算調整勘定	1,388	4,073
その他の包括利益累計額合計	△23,924	△196,891
純資産合計	6,658,190	6,485,893
負債純資産合計	11,938,942	12,370,024

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	8,842,491	9,031,609
売上原価	6,961,802	7,054,663
売上総利益	1,880,689	1,976,946
販売費及び一般管理費	1,796,694	1,768,711
営業利益	83,995	208,234
営業外収益		
受取利息	289	602
受取配当金	5,681	3,376
持分法による投資利益	7,138	12,305
その他	3,225	3,795
営業外収益合計	16,334	20,079
営業外費用		
支払利息	19,384	16,048
為替差損	14,514	13,263
その他	3,480	565
営業外費用合計	37,379	29,876
経常利益	62,950	198,437
特別利益		
投資有価証券売却益	－	11
特別利益合計	－	11
特別損失		
投資有価証券評価損	－	13,567
固定資産除却損	3,194	4,546
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,917	－
特別損失合計	16,111	18,114
税金等調整前四半期純利益	46,838	180,334
法人税、住民税及び事業税	65,921	48,225
法人税等調整額	△26,244	47,456
法人税等合計	39,676	95,682
少数株主損益調整前四半期純利益	7,161	84,652
四半期純利益	7,161	84,652

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,161	84,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,690	4,746
繰延ヘッジ損益	△283,562	△180,397
為替換算調整勘定	2,260	2,684
その他の包括利益合計	△298,991	△172,966
四半期包括利益	△291,829	△88,314
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291,829	△88,314

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,148,101	677,241	342,136	338,575	8,506,054	336,436	8,842,491	―	8,842,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,039	900	25	―	42,966	1,620	44,586	(44,586)	―
計	7,190,141	678,141	342,162	338,575	8,549,020	338,056	8,887,077	(44,586)	8,842,491
セグメント利益又は損失（△）	97,963	△41,513	2,373	31,808	90,632	△7,977	82,655	1,340	83,995

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

２．セグメント利益の調整額1,340千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	福祉事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,610,087	676,251	366,517	8,652,856	378,753	9,031,609	―	9,031,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,604	678	―	39,283	44	39,328	(39,328)	―
計	7,648,691	676,930	366,517	8,692,139	378,798	9,070,937	(39,328)	9,031,609
セグメント利益又は損失（△）	192,029	△12,151	8,878	188,756	18,170	206,927	1,307	208,234

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

２．セグメント利益の調整額1,307千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 主な事業内容の変更に伴う報告セグメントの変更等

平成23年４月１日を以って開発事業より撤退しました。

受注元の会社方針の変更により、受注元社内で機械等の発注及びメンテナンス管理等を内製することとなったためであります。

(2) 事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法の変更

前連結会計年度まで、連結子会社㈱バーデンの管理部門に係る営業費用は、各セグメントの売上高比率等により配賦をしておりましたが、当連結会計年度より、開発事業の撤退に伴い、各セグメントの経営成績の実態をより的確に把握することを目的に配賦方法を再検討した結果、従業員の就業時間比率により配賦を行う方法に変更いたしました。

なお、当該方法によった場合、Ⅰに記載されている前第２四半期連結累計期間のセグメント利益は自動車関連小売事業で3,796千円、開発事業で16,952千円、その他の事業で4,898千円増加し、福祉事業で25,647千円減少致します。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。